

オンライン授業実施後の 学生の生活環境調査

2020年5月24日

昭和女子大学

高木ゼミナール

調査目的

1. 調査目的

オンライン授業実施後の
学生の受講環境と生活の変化
について明らかにする。

2. 調査仮説

オンライン授業の実施によって
学生生活に変化が生じている。



学生のネットワーク環境に変化が生じている



学生の私生活に変化が生じている。

調査概要

3. 調査概要

①期間

- 2020年5月12日-22日

②対象者

- 昭和女子大学生 全学科

③調査方法

- グーグルフォームにてアンケート。

④質問項目

- オンライン授業受講環境変化/オンライン授業重視項目/オンライン授業による生活変化

⑤アンケート回収数

- 312名

アンケート結果

1. ネットワーク環境の変化
 2. 私生活の変化
-

アンケート調査結果

- 回答者属性

学年	人数
大学1年生	173人
大学2年生	48人
大学3年生	81人
大学4年生	6人
大学院生	4人

学部	学科	人数
グローバルビジネス	ビジネスデザイン	87人
	会計ファイナンス	91人
人間社会	心理	18人
	現代教養	9人
	福祉社会	36人
	初等教育	0人
国際	国際	21人
	英語 コミュニケーション	15人
環境デザイン	環境デザイン	11人
生活科学	食安全マネジメント	26人
	管理栄養	3人
	健康デザイン	0人
人間文化	日本語日本文学	3人
	歴史文化	0人

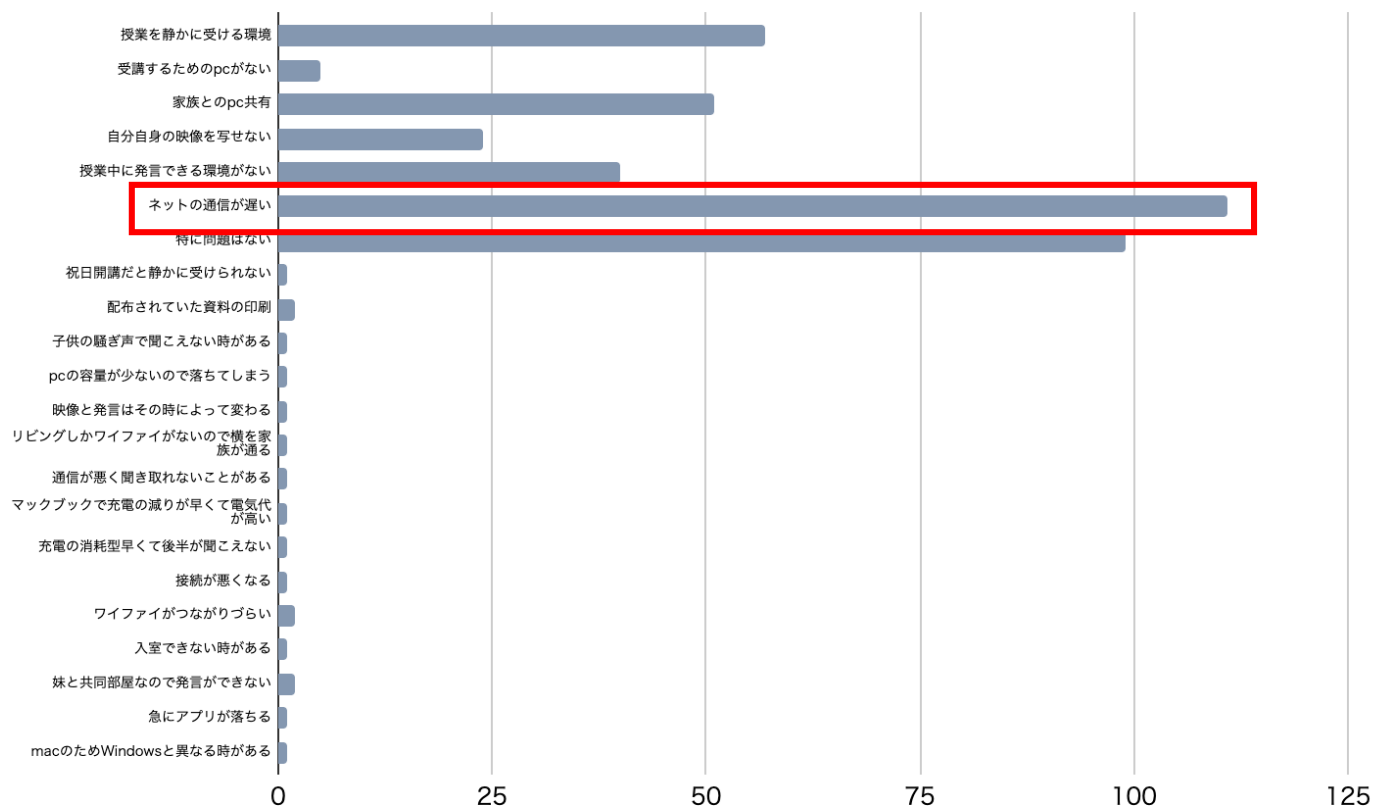
アンケート結果

1. ネットワーク環境の変化

アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化①-

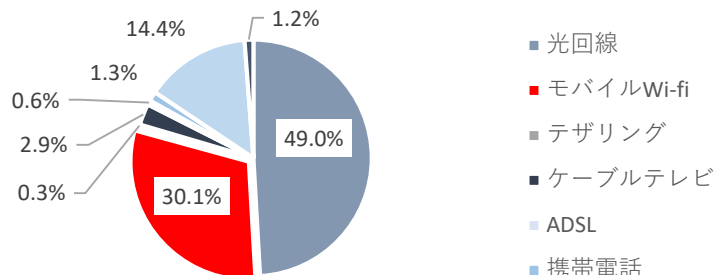
ネットワークに限らず受講環境の問題が生じている。

図表1: オンライン授業受講環境に生じている問題(N=312)

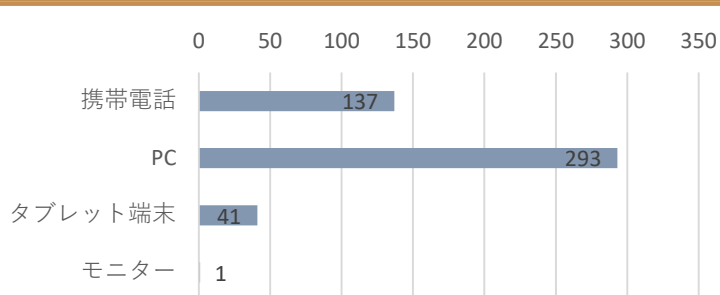


アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化①-

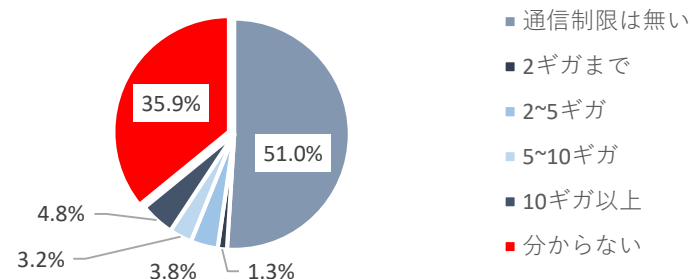
図表2: 自宅のネットワークの接続方法(N=312)



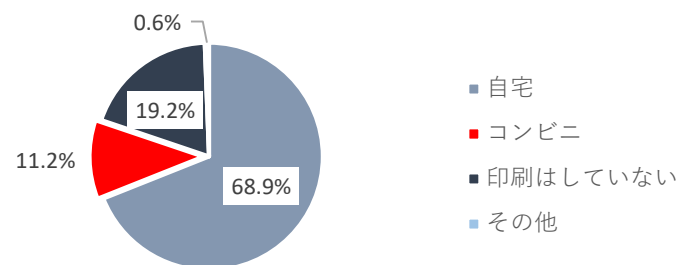
図表4: オンライン授業を受ける際の使用端末(N=312)



図表3: 自宅のネットワークの通信制限(N=312)



図表5: プリントアウトの場所(N=152)

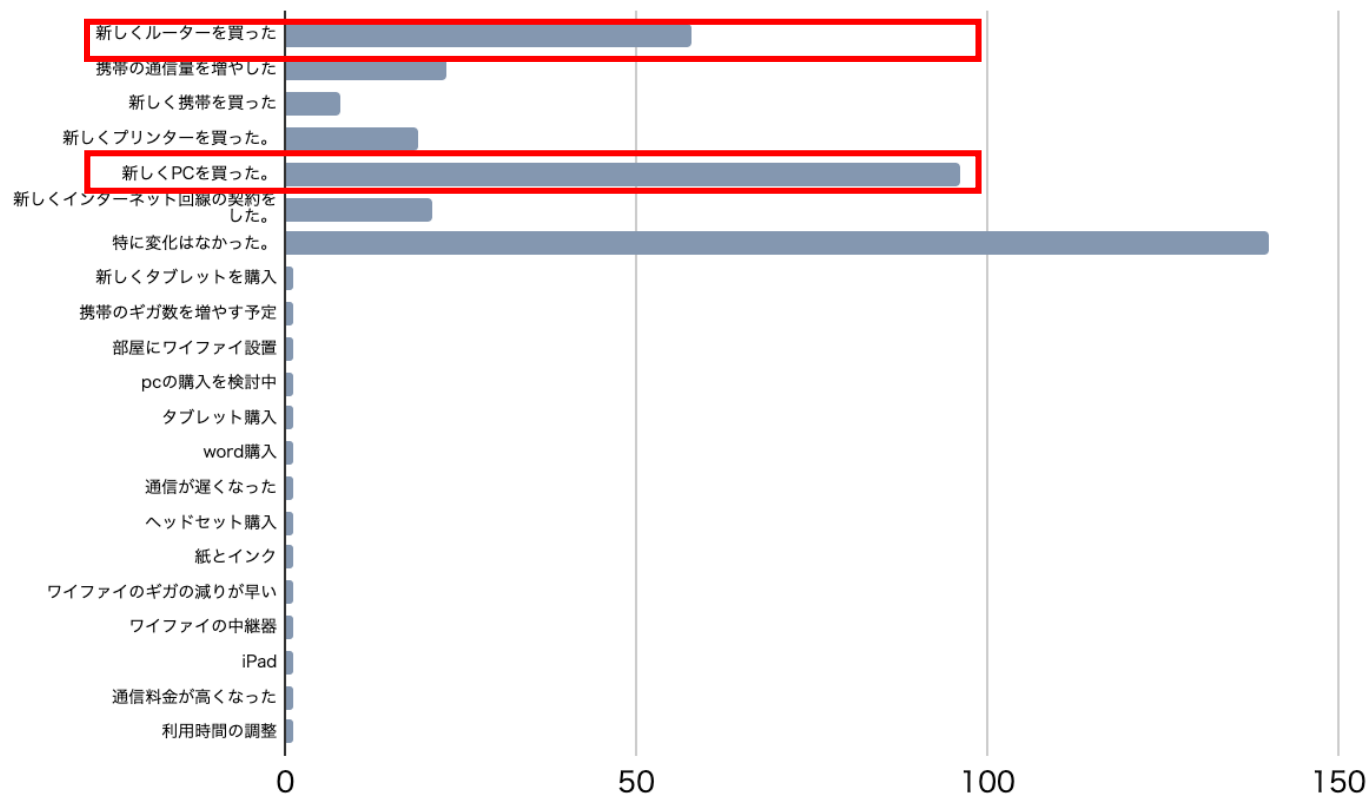


- モバイルWi-Fiを用いての受講が3割となっており、通信制限や通信の不安定さが生じている。自由記述からも通信速度が遅いと感じている(図表2, 3)。
- 携帯電話での受講が多い理由として親とのPC共用が挙げられる(図表4および自由記述)。
- プリンタが自宅にない学生が存在しており、コンビニエンスストアで印刷する学生がいる(図表5)。

アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化②-

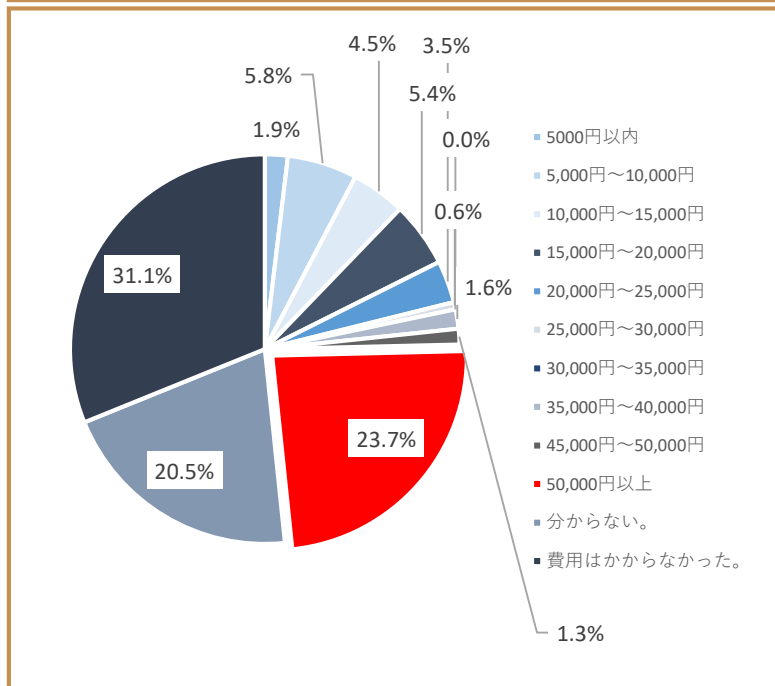
pcや携帯、タブレットといったハード面のみならず、wi-fiルーターの購入や携帯のギガ数増加といったソフト面からの変化が生じている。

図表6: 自宅の受講環境に生じた変化(N=312)

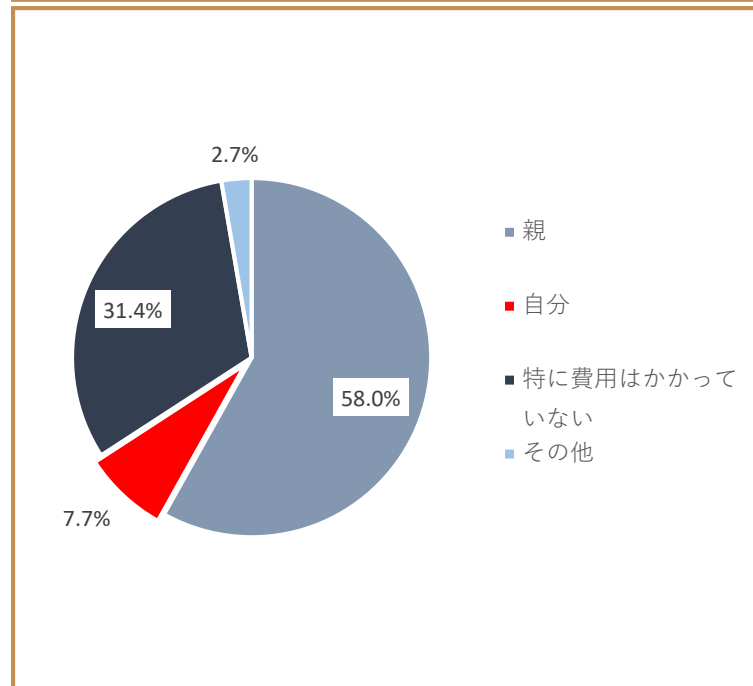


アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化②-

図表7: 受講環境を整えるための費用(N=312)



図表8: 費用を支払った人(N=312)

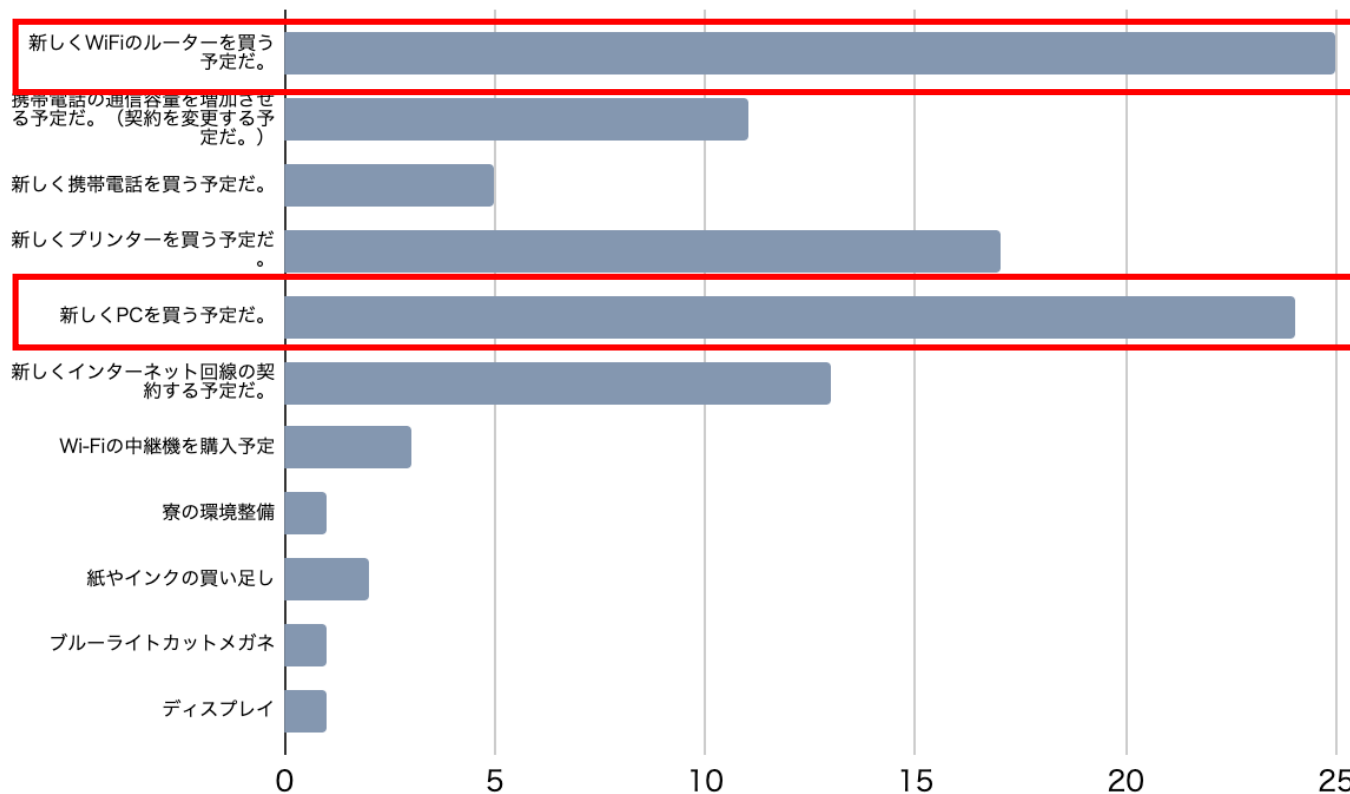


- 50,000円以上と回答している学生が二番目に多く、一部の家庭では学生本人が払っている状況も見て取れる。(図表7, 8)

アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化③-

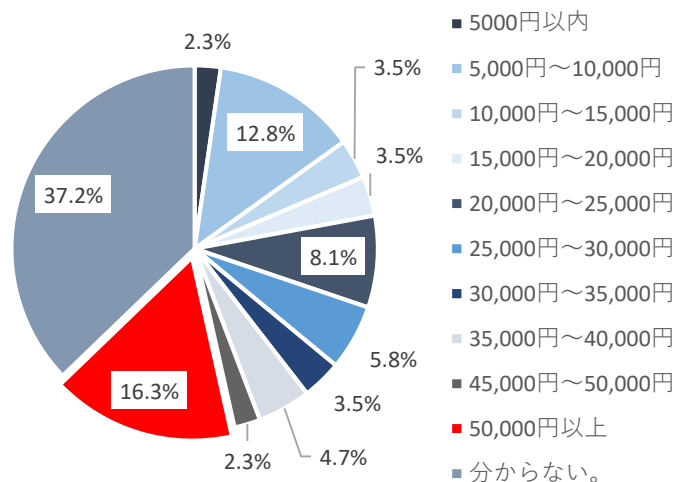
pcや携帯といったハード面とWi-fiルーターやギガ数の増加といったソフト面両方の整備が予定されている。

図表9: 今後の受講環境の整備の予定(N=86)

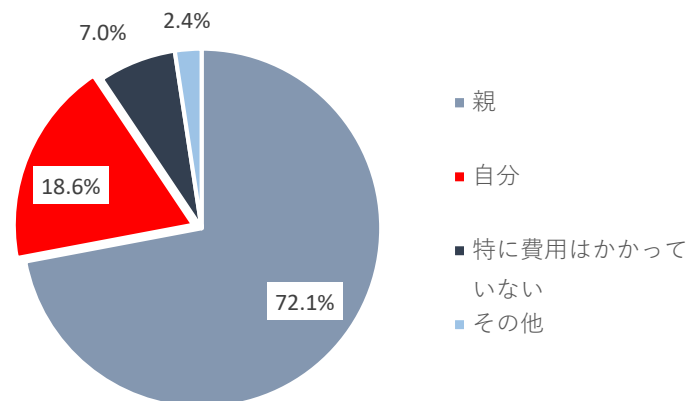


アンケート調査結果 - ネットワーク環境変化③-

図表10: 受講環境を整えるための費用予定(N=86)



図表11: 費用支払い予定の人(N=86)



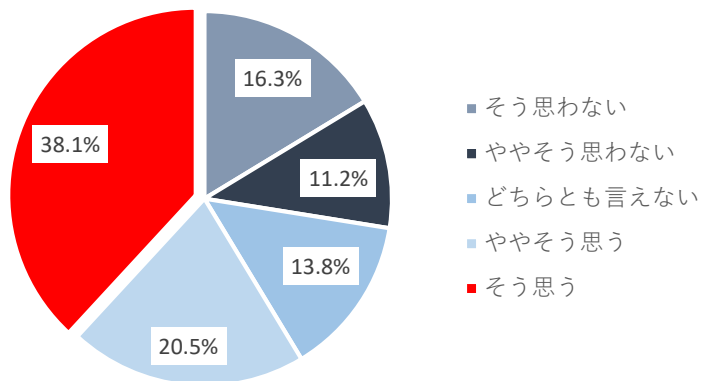
- 費用の見積もりについては「分からない」「50,000円以上」の回答で半数を占めており、学生が支払い予定の家庭では、経済的な不安が予想される。(図表10, 11)

アンケート結果

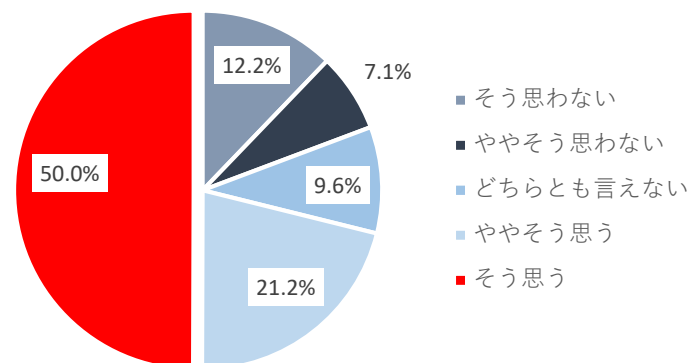
2. 学生の私生活の変化

アンケート調査結果

図表12: 一人で授業を受けることへの不安(N=312)



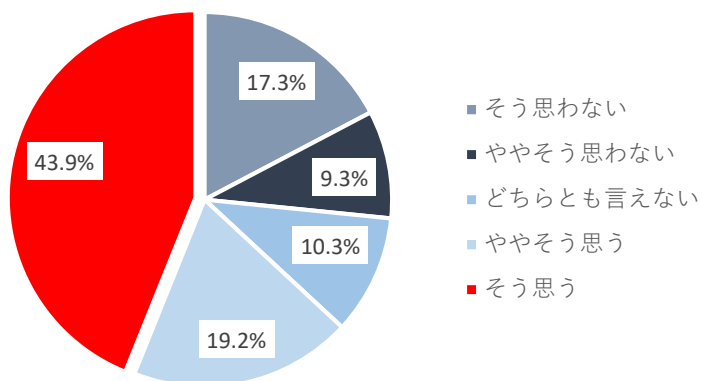
図表13: 不明点を友人へ聞けない不安(N=312)



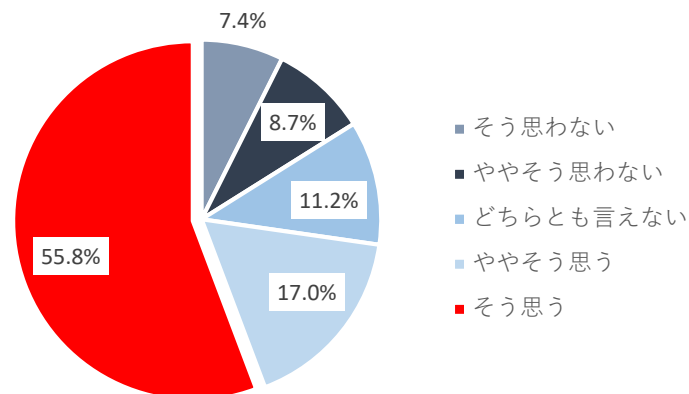
- 一人で授業を受けることにより、モチベーションの低下や不明点を友人などにすぐに聞けないことに対して不安が生じている。(図表12, 13)

アンケート調査結果

図表14: 交友関係が広がらない事への不安(N=312)



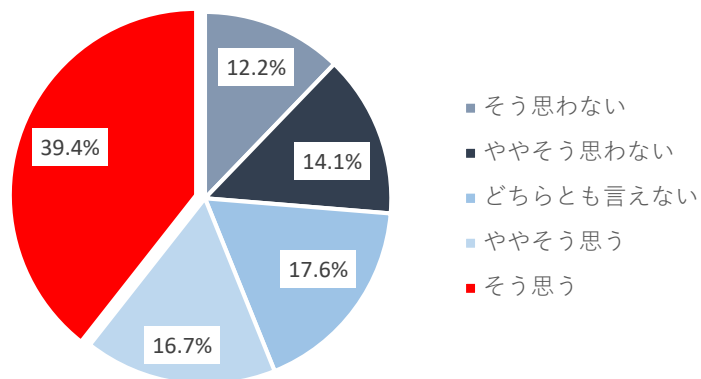
図表15: 課題による自由時間の減少(N=312)



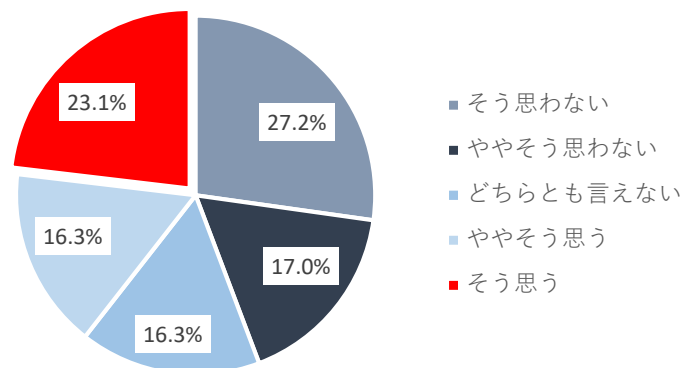
- 人との繋がりが分断され、交友関係が広がらないことに対して不安を抱えていることがわかる。(図表14)
- 半数以上の学生は、課題の量が増え、自由時間の減少を感じている。(図表15)

アンケート調査結果

図表16: 課題による睡眠時間の減少(N=312)



図表17: 昼夜逆転生活による睡眠不足(N=312)

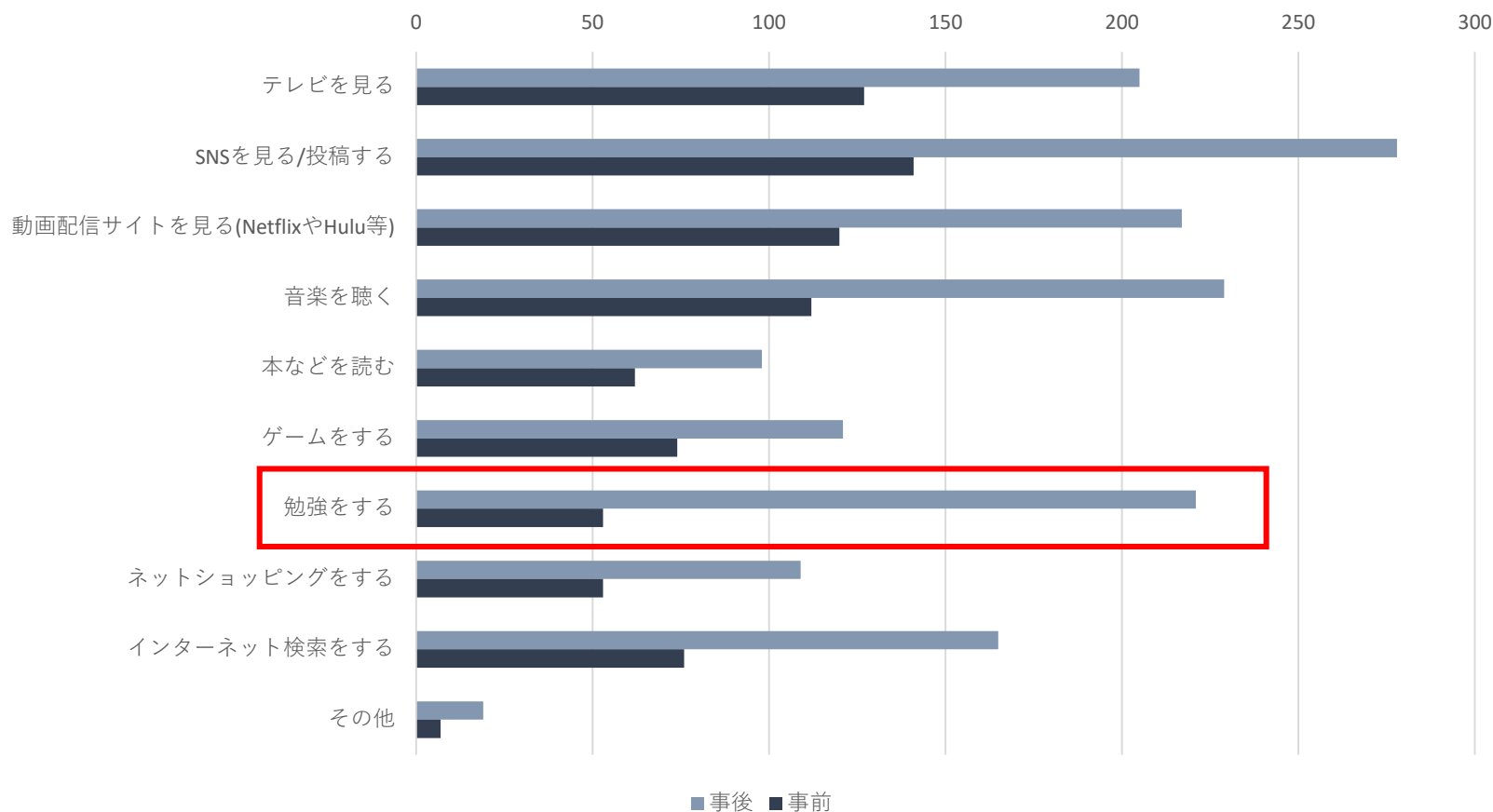


- 課題の量が増える中で、睡眠時間は確保している学生とそうではない学生に分かれている。(図表16)
- 自分を律することができている学生とそうではない学生で二極化している。(図表17)

アンケート調査結果

SNSの利用が減らない一方で、授業が始まったこともあり勉強する学生も増えている。

図表18: 在宅時の過ごし方(N=312)



まとめ/考察

まとめ

- 今回の調査からわかった事

→ **オンライン授業によって
学生生活に変化が生じている。**

- ネットワーク環境
 - 多くの学生は現状のネットワーク環境に不安。
 - ハード面、ソフト面双方での整備の進行。
 - 50,000円以上をかけた大規模な整備も多々あり。
- 私生活
 - 一人で授業を受けることへの不安。
 - 課題の増加による生活習慣の乱れ。
 - 在宅時に勉強をする学生の増加。

考察

- 今回のアンケートから、受講する環境について整備が進んでいる一方、受講する当事者である学生本人に対するケアはまだまだ進んでおらず、不安を抱えている学生も多いことがわかる。
- 授業を受ける上で学生の受講環境を整えることによる円滑な授業は必要であるが、それと同時に、受講している学生の内面的なケアを行うことも取り組むべき課題であると考える。
- 一人で授業を受けることが増えるため、大学生にはこれまで以上に自分自身を律して、主体的に学ぼうとする姿勢が求められる。

最後までお読みいただき
ありがとうございました！

